

玉井小だより

平成27年7月2日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

大きく育てサツマイモ！



畑作りのその後をお知らせします。6月11日から用務員の國分先生が自宅からトラクターを持ってきて耕してくださいました。耕すたびに石が出てきて、そのたびに子どもたちと石拾いをし、またトラクターで耕すという作業を繰り返しました。最後に、畝をつくる機械を借りてきて、苗が植えられるまでにして下さいました。畑作りがこんなに手間のかかる作業だとは予想もしませんでした。たくさんの皆様の手と時間をお借りしました。本当にありがとうございました。

6月中旬になり、いよいよサツマイモの苗を植えました。

まず、1年生が植え、次に2年生が植えました。次の日には幼稚園児たちが先生に教えていただきながら、丁寧に植えました。苗を植えた次の日から子どもたちは、畑に水やりに行くようになりました。水をやりながら新しい芽が伸びてきているのを発見した子もいます。「茎と茎の間から新しい緑の葉が出たら、大丈夫だ。」と國分先生から教えてもらっていました。幼稚園の子は「いーち、に一、さーん・・・。」と畑の苗が何本あるか数えていました。畑ができたことで子どもたちの活動はどんどん広がっています。秋にサツマイモが収穫できたら、焼き芋になるのかもしれませんが。あるいはスイートポテトになるのかもしれませんが。子どもたちは今から楽しみにしています。

お知らせ 福島県緑の少年団大会への参加について

平成30年に全国植樹祭が福島県で開催されることになりました。ここ大玉村のふくしま県民の森フォレストパークあだたらでも全国植樹祭のサテライト会場としてイベントが開催されると聞いております。フォレストパークあだたらは県民に誇れる大玉村の貴重な財産です。ここで全国植樹祭関連の行事が行われるのであれば、玉井小の緑の少年団としても絶好の交流、勉強の機会になると考えます。〈裏へ続きます〉

今年もフォレストパークで県の大会が次のとおり開催されます。6年児童、保護者の方で参加できそうな方は担任までお知らせください。今年は4名程度の参加を考えています。7月7日（火）には申し込みをしたいと考えています。

第41回福島県緑の少年団大会

- 期 日 平成27年8月3日（月）12：30～
8月4日（火）～12：00（1泊2日）
- 会 場 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら
- 経 費 食事代のみ各自負担
宿泊費、交通費、傷害保険料等は主催者が負担します
- 日 程 3日（月）開会式、古代人の火起こし道具づくり（予定）、テント設営
夕食づくり、夕食、ナイトハイク、キャンプファイヤー
4日（火）ツリークライミング体験、閉会式、昼食
- 参加資格 緑の少年団の代表 各団体4名程度
引率者各団2名（教師、保護者）
- 主 催 福島県緑の少年団育成協議会、福島県森林・林業・緑化協会

編集後記

「^びとく^{もつ}を^{かざ}以て^な飾りと為す」



写真のように大書したこの言葉が、校長室に掲示してあります。来校された方々も「いい言葉ですね。」とおっしゃって、見ていかれます。

「見た目より内面を飾ることが大切である」という意味だそうです。一昨年 of NHK の大河ドラマ「八重の桜」の主人公新島八重の言葉です。当時の6年生がこの言葉を常に意識しながら、郷土福島の学習を進めたと聞いています。「心に響く いい言葉だな」と思います。

毎朝学校に来て、机に向かうとまずこの言葉が目に入ります。そのたびに、子どもの前に立つためには、常に「徳」に近づく努力をしなければいけないと改まった気持ちになります。

この言葉を読み、子どもたちの登校指導に向かうのが日課です。

教育は法律や制度できちんと内容が定められていますが、最後は子どもの前に立つ教師の人間性にかかるところが大きいと思います。日々、勉強していかなければと自分に言い聞かせています。